

オフライン版



海と日本プロジェクト
スポGOMI甲子園鹿児島県大会
〈運営マニュアル〉

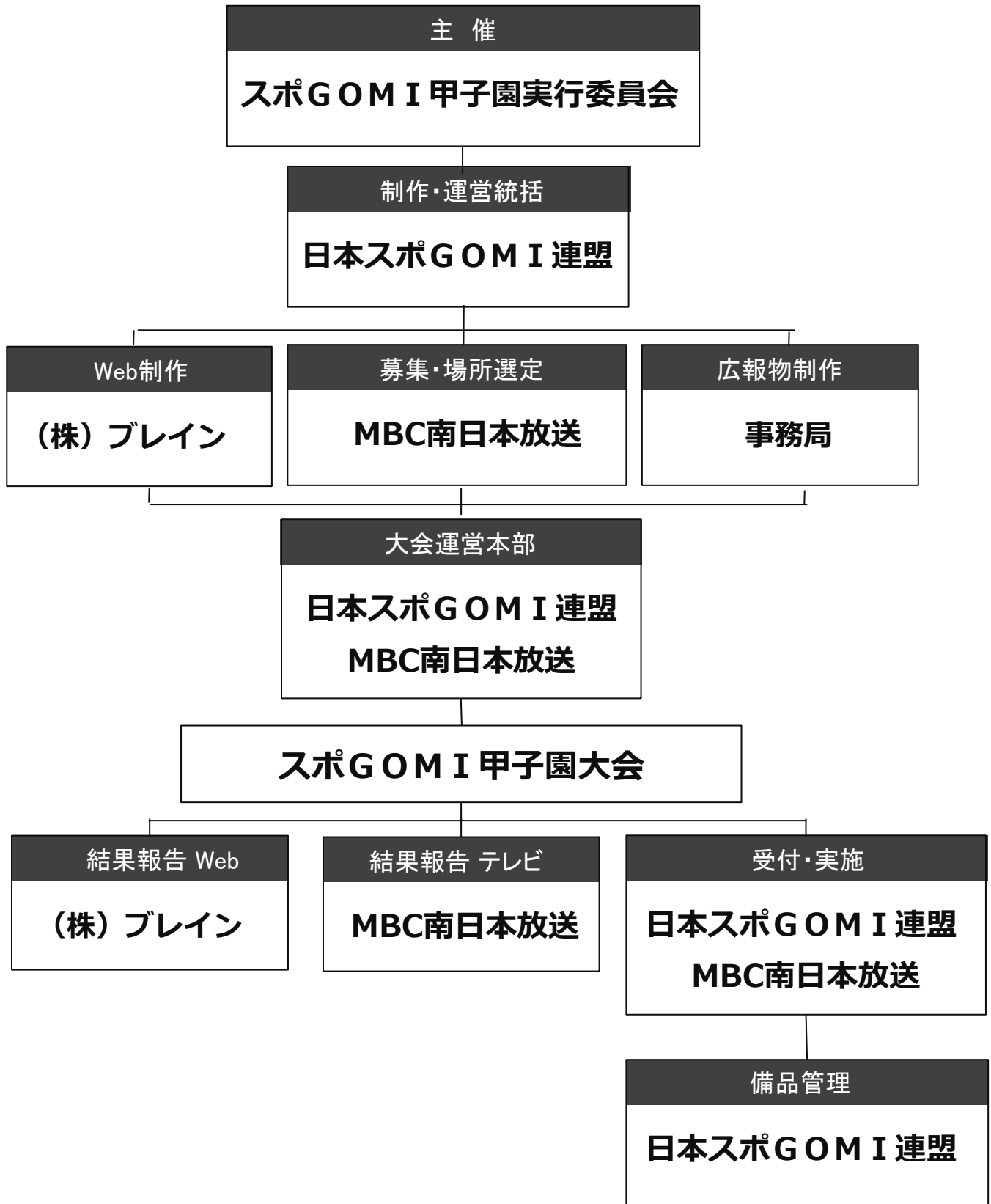


海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 鹿児島県大会

- 開催日：2020年10月24日（土） ※予備日10月25日（日）
- 主催：海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園実行委員会／日本財団
- 協力：海と日本プロジェクトin鹿児島／日本スポGOMI連盟
- 全ての開催地：北海道、青森、秋田、山形、新潟、石川、長野、島根、埼玉、神奈川、静岡、滋賀、岐阜、三重、兵庫、愛媛、高知、岡山、山口、福岡、佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- 時期：県予選 2020年9月上旬～11月上旬まで
決勝戦 2020年11月22日（日）@墨田区役所リバーサイドホール
※リモートでの開催となる可能性もあります。
- 内容：全国25都道府県の高校生を対象として、ゴミ拾いにスポーツ的なルールを盛り込んだ「スポGOMI甲子園」を開催。各都道府県共に10～15校を募集し、各高校3人一組でチームを組む。制限時間の60分で予め定められたエリア内のゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う。各都道府県大会の優勝チームは決勝大会へ招待（リモートでの開催になる可能性があります）。
- 受付：軍手、トング、ゴミ袋、ルールブックをチーム毎に配布

<鹿児島県大会タイムスケジュール>

- ・ 9:30 参加者受付開始
- ・ 10:00 開会式
ご挨拶（海プロ事業の説明、海ゴミ・陸ゴミの話し）※エリア局様
選手宣誓（参加者代表）
ルール説明（担当ディレクター）
作戦会議3分
- ・ 10:20 スタート発声 [CHANGE FOR THE BLUE!] ※全員で発声
※競技時間 60分
- ・ 11:20 競技終了
集計タイム
- ・ 11:40 結果発表
表彰式／大会総括
全体撮影 ※海プロ横断幕
- ・ 12:00 終了



海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 鹿児島県大会

- 開閉会式場所：磯海水浴場（〒892-0872 鹿児島市吉野町9684-2）
- 参加人数：20チーム



※受付テント：1張り（例：w7200×d3600）／テーブル3台／イス4脚
※音響：ポータブルアンプ

運営フロー 受付～開会式

<コロナ感染対策>

- ・事務局員及び参加者はまず、会場に到着次第検温、および手の消毒を行う
 - ※37.5度以上の方は参加不可
 - 速やかに退出してもらう
- ・開会式時、計量時、閉会式時は必ずマスクの着用を伝える
 - ※競技中は各自判断、熱中症に気を付ける
- ・入場後は図①の状態で待機する

本部テント 受付

受付テーブル

スタッフ

受付・備品受け渡し

備品受け渡し

※受付で準備するもの

- ・体温計
- ・消毒液

※参加者へ渡すもの

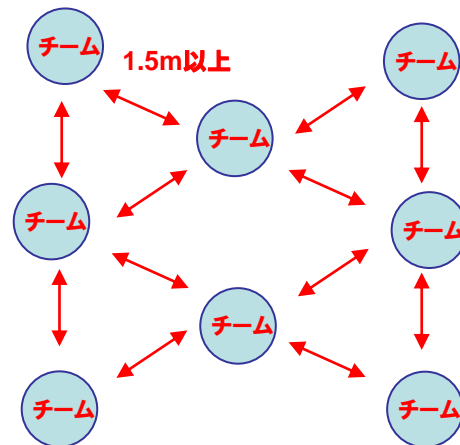
- ・ルールブック
- ・軍手
- ・ゴミ袋
- ・ゼッケン
- ・トング (オリジナルトング優先)

検温・消毒

参加者

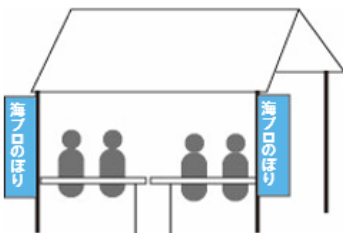
図①

参加者



MC ●

受付イメージ ※海プロのぼりを設置

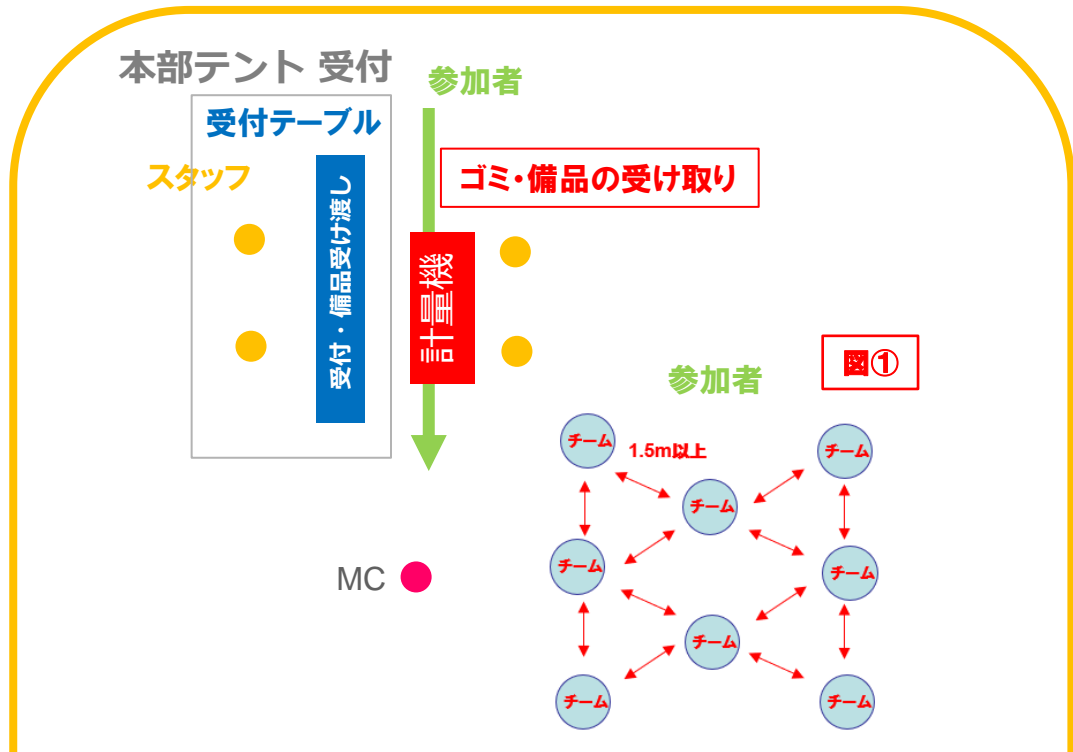


○受付時

- ・会場に入ったら図①のようにチームで集合し、他のチームと1.5m以上間隔を保つ
- メンバーが揃ったチームのチームリーダーが受付を行い、各チーム人数分備品配布
- ※配布備品 (ルールブック：チーム1冊／軍手：全員分／ゴミ袋／ゼッケン：全員／トング：チーム1本 (オリジナルトング優先))
- ・受付終了後は図①の状態で開催式を待つ
- ※遅刻など全チームがそろっていない場合は、主催者と局で判断し開会式スタート

○開会式

- ・MCによる進行のもと開会式実施 ※進行については進行台本に沿って実施
- ・連盟スタッフからのルール説明
- ・作戦会議が終了したら、全員で掛け声「CHANGE FOR THE BLUE！」で競技スタート



○競技スタート～

- ・全チームが出発したら巡回スタッフはエリア内を巡回
 ※安全に競技が進行しているか巡回しながら確認
 ※競技終了の10分前に巡回スタッフは開閉会式会場へ戻って来る
- ・計量準備スタッフは、連盟スタッフと閉会式準備と計量準備にとりかかる
 ※テーブルの設置、計量機、ごみ集積場確認、参加賞や賞状、ポカリスエット、備品回収の準備など

○計量時

- ・**マスク着用の上**、チーム同士が1.5mの間隔を保ちながら順に計量機の前に並ばせる
- ・計量の際は分別が出来ていないと計量できないため、分別完了しているか各チームに案内
- ・計量はチームごとに順番に行う。計量補助スタッフは、集計担当の連盟スタッフと連携し分別の種類ごとに計量を行いスムーズな計量を心がける。
- ・**計量時に軍手を全て回収する**
- ・計量終了後、ポカリスエットを配布。ゴミは、あらかじめ指定したゴミ置き場に集める

○集計

- ・すべてのチームの計量が終了したら、連盟スタッフは速やかに集計を行い順位を確定
- ・MCへ順位を伝えるとともに、準備してある賞状（優勝のみ）にチーム名を記入

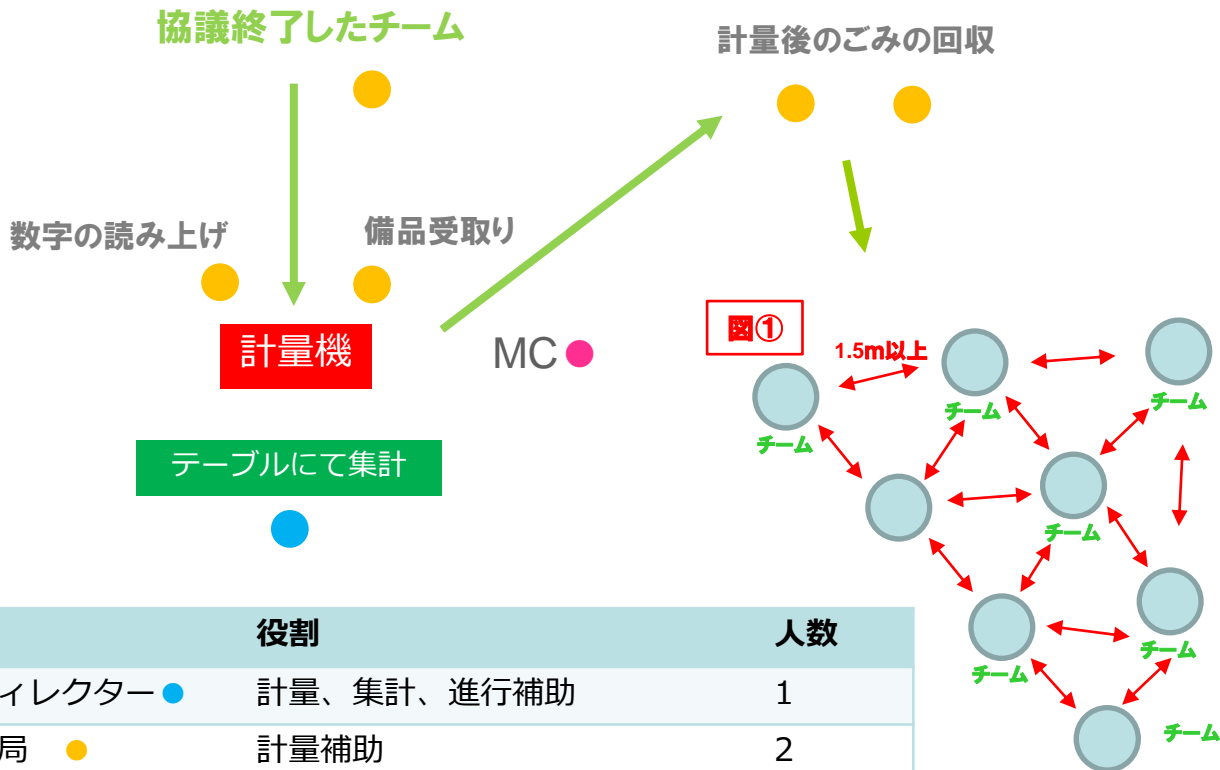
○閉会式

- ・**図①**の様に整列し、全チーム順位・賞状などの準備が完了しだい閉会式を実施
 ※進行については進行台本に沿って実施
- ・表彰式終了後、全チームの集合写真を撮影
 ※**マスク着用で整列（撮影時のみはずす）**
 ※海プロのぼり、横断幕と一緒に撮影

○閉会式終了・解散

- ・ごみの回収業者





人員	役割	人数
連盟ディレクター ●	計量、集計、進行補助	1
エリア局 ●	計量補助	2
エリア局 ●	整理誘導、備品回収、ゴミ回収	3
エリア局 ●	MC進行、案内	1

○計量時

- ・帰ってきたチームは**マスク着用の上**、チーム同士が1.5mの間隔を保ちながら順に計量機の前に並ばせる
- ・計量の際は分別が出来ていないと計量できないため、分別完了しているか各チームに案内
- ・計量はチームごとに順番に行う。計量補助スタッフは、集計担当の連盟スタッフと連携し分別の種類ごとに計量を行いスムーズな計量を心がける。
- ・**計量時に軍手を全て回収する**
- ・計量終了後、ポカリスエットを配布。ゴミは、あらかじめ指定したゴミ置き場に集める

○集計

- ・すべてのチームの計量が終了したら、連盟スタッフは速やかに集計を行い順位を確定
- ・MCへ順位を伝えるとともに、準備してある賞状（優勝のみ）にチーム名を記入

○閉会式

- ・**図①**の様に整列し、全チーム順位・賞状などの準備が完了しだい、MCによる進行のもと閉会式を実施
- ※進行については進行台本に沿って実施
- ・表彰式終了後、全チームの集合写真を撮影
- ※**マスク着用で整列（撮影時のみはずす）**
- ※海プロのぼり、横断幕と一緒に撮影

○閉会式終了・解散

- ・ごみの回収業者



競技エリアは磯海水浴場一帯となります。

60分間の競技時間中であればエリア内のどの方向に進んで行っても大丈夫です。



ルール 以下の分別方法・得点換算に従い行います。

※100g以下の量でも、ptはつきます。

燃える

紙類、布類、雑誌類、弁当・食品容器包装ごみ
コンビニ袋など

100g → 10pt

※草、落ち葉、枝、家の廃材等は、燃えるゴミとして含まれません。

燃えない

ビニール傘、ガラス類、鍋、フライパン、せともの類、
電池、ライター、鏡、金属類など

100g → 5pt

※小型電化製品(ドライヤー、髭剃りシェーバー)位の大きさのモノはOKです。
それ以上のモノは粗大ゴミ扱い。ブロック、レンガなどは含まれません。

ビン、缶(ドリンク系など缶全て)

中身は捨てる。

100g → 20pt

ペットボトル

中身は捨てる。

100g → 40pt

たばこの吸い殻

100g → 50pt

分別ごとにゴミ袋は分けてください



オリジナルアイテム持参で50ポイント!

斬新さ、機能性、デザイン性を審査!
優秀チームには最優秀アイテム賞!

オリジナル
アイテムポイント

一律
50ポイント

+

最優秀アイテム賞
50ポイント

【粗大ゴミは、絶対に持ち帰らないでください!】

(過去大会であった例)

バッテリー、DVDプレイヤー、扇風機、布団、座布団、ダンボールの束、
消火器、コンクリートブロック、金庫、金属棒、タイヤ、自転車の車輪
マンホール、三角コーン、コンロ、パソコン、ベビーカー、炊飯器

※指定ごみ袋に入らない長さ50cm以上の燃やすごみ、燃えないごみなど)

★粗大ゴミ以外の燃えるゴミ・燃えないゴミの種類で
ビニール傘より長いモノ・ゴミ袋に入らない大きいゴミも粗大ゴミ扱いとします。

競技上の主な注意点

参加者は、競技するにあたって自分自身や、

チームメンバーの安全に注意を払うこと

(以下、注意点)

- ・海に入らない。
- ・競技時間・エリアを守る。
- ・**走らない。**
- ・チームは、まとまって行動する。※先頭と最後尾が10メートル以内
- ・ごみの分別区分を守る。
- ・流木は拾わない。
- ・**私有地に入らない。**
- ・**注射針や海外漂着ごみの液体など危険なものには触れない。**
- ・スタッフの注意を聞く。
 - 注意を聞かない場合、競技を中止させる場合もあります。**
- ・競技中、ケガや事故など発生した場合は、速やかにスタッフの指示を仰ぐ。
- ・粗大ごみは拾わない。
 - ブロックやレンガなど石類は拾わないで下さい。**
大量の段ボールなど、ごみ袋に入らないものは粗大ごみとみなす。
※判断できない時は、スタッフに確認して下さい

以下のルール違反になるような行為が行われ、何度注意しても守らない場合は減点・失格となります。

種類	内容	減点ポイント
規則に反する行為	支給された用具以外の物を使用する行為	100
	走る行為	
	プレーヤー同士が離れすぎ（先頭と最後尾が10m以内）	
	粗大ごみを拾う行為	
	分別方法を無視する行為	
	故意に重量を増す行為	
競技終了に関すること	競技終了時間を守らない行為	100
	集合しても、本部に報告をしない行為	
	メンバー全員揃って競技終了しない行為	
スポーツマンシップに反する行為	スタッフに逆らうなど、目に余る危険な行為	失格

海と日本プロジェクトでは、海洋環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海のすばらしさを未来にへ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目指しています。大会の様子は、公式サイトやSNSを通じて発信されていきます。

→参加者の皆さんの写真が、各種メディアに掲載されることがあることをご了承ください

※不都合などある方は事前に申し出てください。

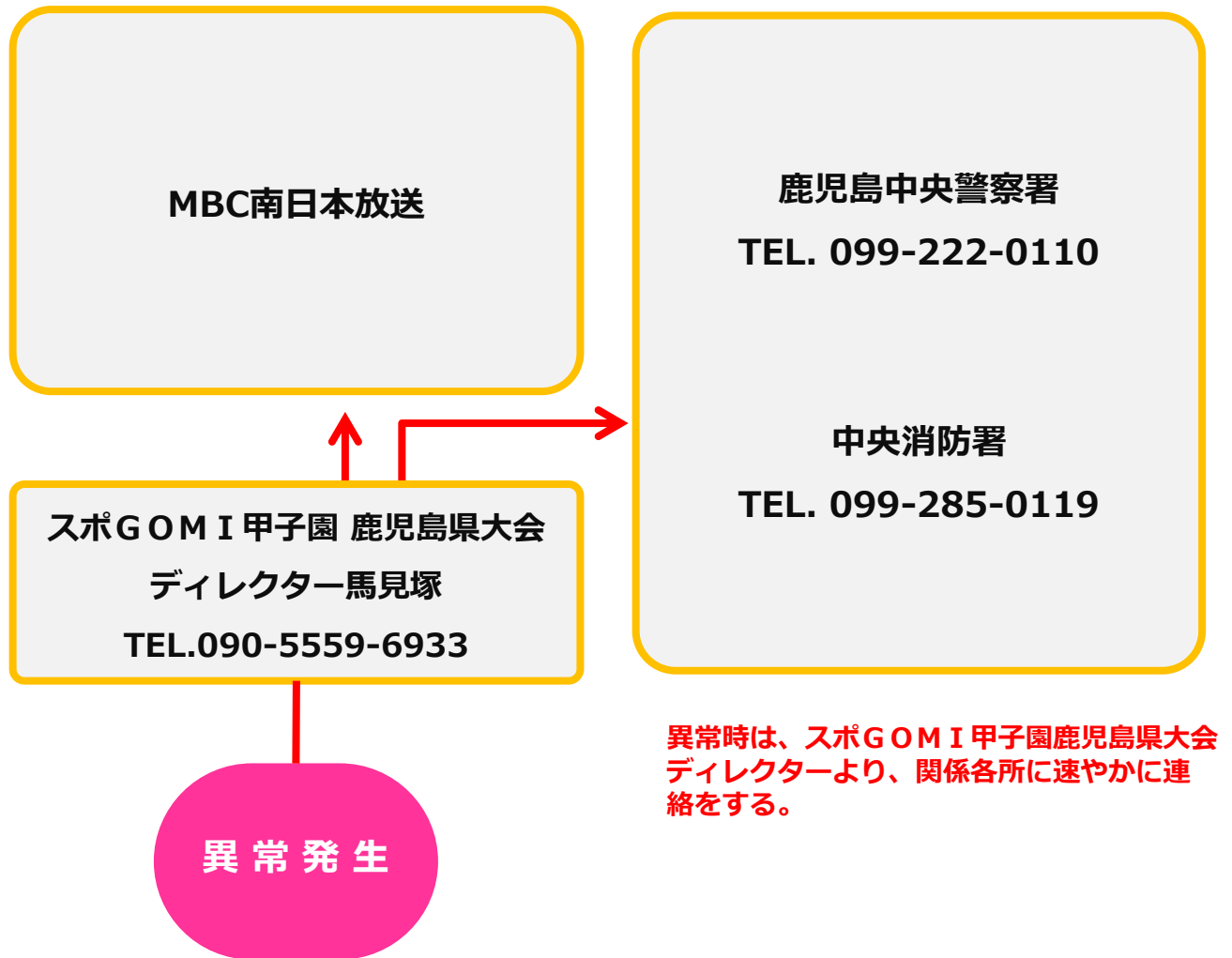
大会中の様子は、参加者の皆さんがご自身のSNSなどを通じて発信していただくことは推奨しています。

→可能な限り、

#海と日本 #umigomi #日本財団 #スポGOMI甲子園
のハッシュタグをつけていただけるようにお願いします。

皆さんで

**「海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園」
を一緒に盛り上げていきましょう！**



イベント中止判断基準：
降雨量に関わらず断続的な雨天予報（前日・当日朝）の場合に
事前または当日午前7時に中止判断をします。

《開催前》

- 大会前日午後5時、または当日の午前7時の時点で中止の判断をする。
※よほどの大雨でない限り開催する。競技時間を40分にするなどテレビ局と協議。
※当日の中止の目安:1時間の降水量が10mm以上または注意報が出た場合。
- 中止になる場合は手分けしてすみやかに開催地メディア、参加高校引率担当者、関係各所に連絡をする。
- なお、雨天中止時の振替開催を行う際はその旨も合わせて連絡すること。



《開催中》

- 突然の雷雨、大雨注意報、雷警報が出た場合その時点で中止の判断を行う。
- 避難が必要な場合は責任者の指示に従い決められた避難場所等に避難、誘導する。
※参加者たちを優先的に避難させる。
- 勝敗結果は中止前までに集めたゴミのポイントで決める。
- 中止が確定し、参加者たちが帰ったら安全を確認し撤収作業。



開催直前に緊急事態宣言が発令された場合

- ・開催直前に緊急事態宣言が発令された際には、エリア局より連盟事務局へ連絡。
競技の上、開催か否かを検討する
- ・やむを得ず中止の際は、11月上旬までの開催をメドに別途開催日を設ける



■ 事故・ケガ

状況で現場判断し参加者を本部テントまで戻す

判断ができないものは、担当ディレクターへ連絡し指示を受ける

■ 競技時間

熱中症の心配がある様な炎天下時は、担当ディレクターとテレビ局との競技の上、競技時間の10～15分短縮を検討する

■ 取材・問合せ

回答可能なものは現場にて対応。不確実な点は後日実行委員会へお問合せいただくか、スポGOMI甲子園公式HPを案内

■ ゴミ回収

回収時間の確認・調整は、テレビ局でお願いします

大会終了後、速やかに回収できるように時間設定して下さい

■ 大会優勝チームの連絡先等はテレビ局で確認をお願いします。

後日、全国大会に向けてご連絡をいたします。

スポGOMI甲子園アプリ ココイル ダウンロード方法



QRコードによるダウンロード



※ 各大会のサークルIDとパスワードは当日受付にてお知らせします ※

ココイルの画面イメージ



<活用方法>

- ・ 競技中に自分たちのチームの現在地を確認し、競技エリアを分析しよう！
- ・ 他のチームがどの辺りでゴミを拾っているかをチェックし、作戦を立てよう！
- ・ 大会本部から届くメッセージに気を付けよう！
- ・ 大会終了後、後日特設サイトにて自分たちのチームの動きと他のチームの動きを比較できます。

※スマホは止まって確認しよう！